

9月定例会市議会で提案された事業個所を視察してきました

9月定例会市議会では、「石神西立野特定土地区画整理事業」内の県道吉場安行東京線の冠水対策を推進するため、6号調整池を現在確保できている用地から先行して整備するため基本設計と造成工事を行う5390万円の予算が計上されています。

日本共産党市議団は、今回の造成工事の予定地と並行する赤堀用水の周辺を現地確認してきました。今後用水路の付け替えや調整池の掘削を行う必要もあり、来年度以降も継続される予定です。

▼6号調整池の整備予定地を視察



▲江川第3調整池の工事現場

石神西立野特定土地区画整理事業内の6号調整池の整備予定地

他に、9月市議会では「江川第3調整池整備工事(その2)」の工事請負契約を締結する議案が提案されており、すでに整備工事が始まっている事業用地や、条例議案で新たに制定する予定の「狭あい道路の拡幅等に関する条例」について、市内に多数ある狭あい道路の状況についても現状について確認しました。

住民のくらしの声を聞き、活かすためにも引き続き頑張ります。



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまとこ

2023年9月24日 No.1715

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

知っ得情報

川口市立看護専門学校 令和6年度 学生募集

看護学科を卒業すると看護師国家試験受験資格および専門士(医療専門課程)の称号が付与されます。募集定員は40名(推薦及び社会人入学試験50%程度、一般入学試験50%程度)・修業年限は3年課程(全日制)入学選考手数料は各10,000円です。

●学生募集について●

【推薦入学試験】出願期間/令和5年9月25日(月)~9月29日(金)

【社会人入学試験】出願期間/令和5年9月25日(月)~9月29日(金)

【一般入学試験】出願期間/令和5年11月15日(水)~12月13日(水)

※郵送の場合は消印有効(簡易書留で郵送すること)

※窓口受付時間/平日 午前8:30~午後5:15

※出願要件・提出書類・選考などの詳細については、川口市立看護専門学校ホームページ(ダウンロード可)または、党市議団へお問い合わせください。

令和6年度学生募集要項は市役所本庁舎窓口案内・行政センター・各支所・協働推進課でも配布しています。

●主な費用について●

入学料(市内在住)=10,000円 (市外在住)=70,000円

授業料=月額14,000円 諸費=月額10,000円

※現在、埼玉県内には川口市・さいたま市・春日部市が市として看護学校を設置しており、川口市の授業料は低額となっています。

●奨学金制度について●

【川口市看護学生等奨学金】

奨学生の要件 ① 学業成績が良好で、品行方正で健康な方

② 卒業後に川口市内医療機関等において看護師(または保健師、助産師)として就職することを希望する方

貸付額 月額30,000円

貸付期間 入学から卒業までの間。ただし、休学や成績不良(単位の未履修)などの場合には、貸付けが停止されます。

返還免除について 卒業後に川口市内医療機関等において看護師(または保健師、助産師)として就業した場合には、その就業した期間に応じて、貸付けを受けた奨学金の全額または一部の返還が免除されます。

注意事項 本奨学金は、募集定員があります。

※その他の奨学金 【埼玉県看護師等育英奨学金】

【独立行政法人日本学生支援機構奨学金】もあります。

9月14日(木)10時から日本共産党の金子ゆきひろ市議が一般質問を行いました。以下、いくつかの質問と答弁の概要をお知らせします。

「川口で学び、川口で働き、川口でくらす」自立した地域循環型のまちづくりをテーマに川口市政に対する提案をおこないました。

◎誰もが等しく文化芸術を享受できる環境の整備を

文化芸術の振興は多様性、個性を発揮するという点で、人間が人間らしくあるうえでとても大切。基本計画は今年度改定予定となっていることからあらためて「誰もが等しく文化芸術を享受できる環境の整備を推進する」という文化芸術基本計画を活かした川口市政を

【問】美術館の夜間開館の設定について

【答】20～50代の働き盛りの年代は仕事や子育てに追われるなど、自由に使える時間が少ないことから美術館に来館しづらい状況にあるものと推察する。美術館の開館時間については夜間開館も含め誰もが等しく文化芸術を享受できる環境を提供できるよう検討する。

【問】学校教育における文化芸術の役割について

【答】毎年川口総合文化センターリリアで、小学5年生を対象に劇団四季による芸術鑑賞教室「こころの劇場」を実施し、子どもたちが本物に触れる機会を提供している。またコロナ禍前には、小学6年生を対象に市の音楽鑑賞教室をおこないオーケストラの迫力ある演奏に触れる機会を設定。今後も改修されるリリアや新設される美術館を拠点に、すべての児童生徒が学齢期から優れた文化芸術に触れ、親しみ、感動する機会を位置づけ豊かな心や情操を育てていく。

◎見沼代用水東縁について

見沼代用水は江戸時代と現在を結び、目に見える歴史的産物でもあり遊歩道は市民にも日常的に利用されている。川口市としての歴史的な位置づけを高めるべき

【問】歴史的価値について認識が高まるようにするには

【答】地域の歴史に対する理解を深めることは、郷土川口への愛着を高める上でとても大切であると認識している。見沼代用水の歴史的価値については企画展や講演の中で紹介するほか、学校連携事業である「オンライン社会科見学」において「井沢弥惣兵衛と川口の偉人・伊奈忠治」をテーマに実施するなど普及啓発を図っている。今後も見沼代用水の歴史的価値について様々な事業を通して発信していく。

◎川口市内で働くことについて

【問】川口市発注の公共工事現場に週休2日制を導入すること

【答】令和6年4月から建設業においても時間外労働規制が適用され、また公共工事の品質確保の促進に関する法律において、適正な工期設定が発注者の責務とされている。

本市では昨年7月に各工事担当部局に対し、建設工事に従事する全ての労働者が時間外労働の上限規制に抵触することのないよう、緊急を要する工事などを除き可能な限り週休2日制を確保できる適切な工期を設定するよう周知をおこない、建設工事における働き方改革を推進すべく取り組んでいる。

◎太陽光発電設備と蓄電池の組み合わせを普及すること

【問】太陽光発電設備がある公共施設への蓄電池の設置について

【答】公共施設、家庭、事業所等への「省エネルギー設備・機器や再生可能エネルギー設備の導入拡大」を重点施策として位置づけ、優先的に推進している。蓄電池は太陽光発電設備との組み合わせによりエネルギーの地産地消が一層進むと共に、災害時の対策という観点からも関係部局と連携し、各公共施設の電力状況に応じて設置を推進していく。

◎都市農業の振興のために

【問】食事を提供している公的施設との連携を進めること

【答】「食事を提供している公的施設との連携」は川口市農産物の新たな販路拡大のひとつとして考えている。生産量の確保などの課題もあることから関係団体と連携を図りながら取り組んでいく。

◎川口市DX推進指針について

【問】市職員の姿勢について

【答】デジタル関連業務委託にあたって仕様書の作成、金額の設定、委託管理など各プロセスにおいてシステム事業者からの提案内容や提示金額等を鵜呑みにするのではなく、市職員においてきちんと内容を精査することが必要であると考えている。またシステム事業者との交渉や協議に際して一定程度のデジタル関連知識も必要となることから、デジタル技術や知識に強い人材の育成に取り組んでいく。

【問】地方公共団体独自の施策が廃止・縮小されることのないようにするための財政支援は

【答】システム標準化とは関連なく独自施策を実施するためのシステム改修経費は、国の財政支援の対象外となっている。一方で、標準準拠システムへの移行後においても市の独自施策を継続するために行う、独自施策に係る情報システムと標準準拠システムとの連携に要する経費などについては国の財政支援の対象となる。